

コロナ感染症対策 学校新様式

【 新町小学校 】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校ではできうる限りのことに取り組んでまいりました。鶴ヶ島市教育委員会から各児童に1つ、飛沫拡散防止パネルを支給していただき、机に設置して学習を進めました。給食当番も、同じく教育委員会から支給していただいたビニール手袋、フェイスシールドを着用し配膳をしました。食事中は席を1方向に向けて、話をしないようにして食べるようにしました。

また、家庭にもたくさんのご協力をいただきました。家庭で用意していただいたマスクをし、体温を記入した健康記録カードを用意して朝、校門をくぐるのが子どもたちの日常になりました。また放課後には、保護者の消毒ボランティアが校舎内の手すりやスイッチ等を消毒してくださいました。感染拡大防止のため多くの行事が中止になったり変更になりましたが、運動会は1家庭の参観者は2名までとし、保護者席を広く取り、譲り合って参観していただくことで無事に終えることができました。



音楽の授業もソーシャルディスタンス

【 西中学校 】

- 学校生活は、体育の授業や運動部の活動など一部を除いて、マスクを着用します。
- 集会は当初は放送にて行っていました。集まれるようになってからは、人との間をあけて、並ぶようになりました。壇上の演台にもシールドをめぐるせています。
- 各自がシールドを持ち、常時、机の上に設置しています。シールドは移動教室にも持参します。家庭科の調理実習では、フェイスシールドを着用しています。
- 給食は全員机を前向きにし、お喋りしないで食べます。おかわりは、教師が机間を回り、よそいます。
- 部活動では、朝練習の前に顧問が健康観察カードを集め、部員の体調を把握しています。部活動終了時間から完全下校までを、5分延長し、手洗い・うがいの時間を設けています。
- 清掃時に、消毒作業を行っています。
- 学校行事や大会は、中止あるいは規模を縮小して行いました。密を避けるため、選手のみでの参加にしたり、保護者の入場を制限したり、無観客で行いました。

【コメント】

生徒は、長期にわたる臨時休校期間を経験して、今学校生活を送れていること自体に感謝しています。制限や不自由さを感じることはありますが、感染防止のためのルールを自分たちで認識し、生徒同士でも声かけし合いながら、新しい生活様式を受け入れて、学校生活を送っています。



各机に飛沫拡散防止の対策を！



実際はマスクを着用して行いました

本日私たちが新成人としての第一歩を踏み出すにあたり、このような素晴らしい式典を開いていただき誠にありがとうございます。またお祝いや激励の言葉を頂きましたご来賓の方々にご臨席いただきましたこと、新成人を代表しまして心よりお礼申し上げます。

このたび私たちは成人式という人生の節目を経て、大人としての門出を迎えることとなりました。今まで二〇年間育て上げてくれた両親、温かく見守っていた地域の皆様には感謝してもしきれません。

私たちの中には大学や専門学校で将来に向けて日々勉強をつづけている者、また就職をして一足先に社会人として世の中に貢献している者がいます。この地元でもともに勉強をしたり遊んだりした仲間ですが、今はそれぞれ別の場所での奮闘をしています。特に昨年二〇二〇年は、みなさんご存じの通りコロナウイルスの拡大が世界的に脅威となりました。開催予定であった東京オリンピックは延期となり、自粛生活を余儀なくされました。その中で大学に通うことも出来ずに毎日パソコンを前に授業を受ける仲間、

逆に感染の危険もある中で仕事へと向かわなければならぬ仲間もいたと思います。しかしこのような状況でもこの日本を動かし続けてくれたのは、人生の先輩である大人の方々でした。新たにこの大人に仲間入りする私たち、この守ってもらって来た立場から、次の世代を守る立場にと段々なっていかなければなりません。本日のこの場を借りまして、新たに自覚と責任をもってこれからの日本社会を担っていきますことを決意いたします。ですが二〇歳となった今、新たな決意と同時にその役目を担っていきけるのだろうかという不安も感じています。幼少期に見ていた二〇歳は大人として完成されたものと捉えていましたが、実際その年になって全くそうで無かったことは、新成人全員が感じていることだと思います。このようにまだまだ未熟な私たちですが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願います。

最後になりましたが、この地元鶴ヶ島で習った初心を忘れずに、やさしく、かしこく、たくましい大人になることを誓いまして、新成人代表の誓いの言葉とさせていただきます。

令和三年一月十日

新成人代表

長島 輝斗

祝辞

「希望」

会長 涌井保男

成人された皆さんに先ずはおめでとうと申し上げます。今日は皆さんに『希望』という言葉が人生の節目となる今日この日に送ります。令和二年は新型コロナウイルスという目に見えない敵と経験したことがない日常との戦いでした。老若男女問わずこの変化に対応する心構えが必要でした。不要不急の外出と移動を控え、外出時は三密（密集・密接・密閉）を避け、ソーシャルディスタンス（人的接触距離の確保）を遵守され、人々の行動が制限され、学校、会社、地域の諸々行事はことごとく縮小か中止となり自粛ムードが叫ばれ、窮屈な毎日を経験してきた、この困窮を克服したあとには平穏な日々が必ずやってくる。『希望』を願って、もう少し自粛してみてくださいか。がでしょうか。



成人式実行委員会
長島 輝斗さん



成人式実行委員会
松上 琴音さん